

清水地区タウンミーティング(要約)

テーマ：清水地区のまちづくりについて

平成31年4月18日（木曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は、平日の夜で、何かとお忙しかったのではないかと思います。このように大勢の方にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また、今回のタウンミーティングを行うに当たり、まちづくり協議会の会長さんに大変ご尽力をいただいていたのですが、開催前の3月末にご逝去されました。改めてそのご功績に敬意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈りしたいと思います。タウンミーティングを開催できるようになりましたのも、会長をはじめ、まちづくり協議会の役員の皆さん、地区の皆さんのご協力のおかげです。心から感謝を申し上げます。皆さんご存知の方も多いかと思いますが、私は、清水小学校の入学・卒業生で、40年前の卒業生になります。萱町に住んでいましたので、清水小学校区が一番端でした。ずっとこの公民館前の道を通りながら通っていました。また、私が22歳で就職をし、会社（放送局）がこの近くにありましたので、本当に清水地区にはひとしおの思いがあるところです。皆さんとこうやって意見交換ができることを本当にうれしく思っています。さて、松山市のタウンミーティングは、私が市長に就任させていただいてから始めさせていただきました。どちらが楽かという、市役所で皆さんが来られるのを待っている方が楽です。でも、果たしてそれでいいのでしょうか。松山市は41地区に分かれます。私たちから出向いて、皆さんの声を聞かせていただくとうタウンミーティングを始めました。本日のタウンミーティングで、通算112回目になります。これまで、参加された皆さんから「市の取り組みを知ることができて勉強になった」との声を多く頂きましたので、3期目のタウンミーティングから意見交換の合間に“広報タイム”をとらせていただき、現地現場で業務に携わっている市の職員から、市民生活に役立つ情報をお話できたらと思っています。今日は、家具固定の話と、4月に入ったばかりで大学生や单身の方が多いのが清水地区ですから、ごみの分別についてご紹介させていただいたと思います。また、本日のタウンミーティングはできる限りこの場でお答えをして帰りますが、中には国や県との調整を必要とする案件や、財政的によく考えなければならないものもあろうかと思っています。そういった場合に、いい加減な返事をして帰るわけにはいきませんから、いったん引き取らせていただいて、1カ月をめどに必ず返事をするというのが松山市版のタウンミーティングの特徴です。なお、担当の部長や課長は手元に細かい数字が入ったメモなどがありますので、座ったままご説明させていただきますことをご了承ください。私はできるだけ皆さんの顔を見ながら話したいので、起立して話させていただきます。本日は、この清水地区のまちづくりについて、有意義な意見交換をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

【司会】 次に、清水地区での取り組みについて市長からご説明します。

【市長】 これまでのタウンミーティングで頂いたご意見に対する清水地区の取り組み状況について、代表的な事例をご紹介します。前のスクリーンをご覧ください。まず、7年前の平成24年4月27日に開催した1巡目タウンミーティングで、「子どもたちの自転車ルールについて、学校に行って指導してもらいたい」というご意見を頂きました。確かにこの辺りは、愛媛大学や松山大学、松山北高校、勝山中学校、清水小学校などがある、いわゆる文教地区で、自転車に乗る方が多いですね。早速、平成24年度から各小学校に出向いて、自転車マナー教室を開催し、自転車の交通ルールに関するテストを受けた3年生の児童には、安全利用のルールを記載した「こども自転車免許証」を交付することにしました。警察のイベントで子どもの免許証を発行すると、子どもたちがものすごく喜ぶので、そのアイデアを頂きました。その免許証の裏には、守ってほしい交通ルールなどを書いています。学科を受講してもらったらブルーの免許証を交付して、校庭での安全教室を受講してもらったら、シールを貼ってゴールド免許にしているのが、松山市のこども自転車免許証の特徴です。発行しただけでは、そのうち捨てられてもったいないので、免許証を提示していただいたら、松山市の市有施設、例えばアクアパレットのプールやコミュニティセンターのプール、中島のB&G海洋センターのプール、道後温泉の入浴、また、松山城の天守閣の入場ですとか、大街道やJR松山駅前の市営の駐輪場が無料になったり、割引になったりという仕組みにしています。次に、福祉に関するご意見を頂きました。平成25年11月9日に開催した2巡目のタウンミーティングでは、「当時、石井地区でモデル的に行っていた災害時の要援護者などの情報を地域で共有する取り組みを他の地区でもできるようにしてほしい」という、ご意見を頂きました。例えば、高齢者や障がいがある方、災害の避難時にお手伝いが必要な方など、避難行動要支援者の情報のうち、本人の同意を得た方の名簿は、民生児童委員さんや自主防災組織などと共有していました。本人の同意を得られていない方の名簿の提供は、平成25年度に石井地区まちづくり協議会と協定を結び、モデル的に取り組んでいました。その取り組みを検証し、平成27年3月から全地区を対象に、名簿を管理する体制を整えていただいた団体、例えば、まちづくり協議会、自主防災組織連合会には、どちらの名簿も提供ができるようにしています。いい加減に名簿の情報が漏れてはいけませんから、きちんとした体制を整えていただいた団体には、どちらの名簿も提供ができるようにしています。現在、石井地区、三津浜地区、新玉地区、生石地区の4地区に提供していて、さらに取り組みの輪が広がるよう、働き掛けていますので、清水地区でも取り組みを検討していただければと思います。最後に、同じく2巡目タウンミーティングで頂いたご意見を受けて対応させていただいた事例をご紹介します。当時の大学生からの質問で、「選挙に関心がない若者が多いので、選挙前に説明会をしてほしい」という、ご意見を頂きました。松山市では若者に選挙に関心を持っていただこうと、毎年、小学生から大学生を対象に選挙の仕組みなどを説明する出前講座を

行ってまして、平成30年度には、10,492人の方に参加いただきました。愛媛大学と松山大学さんの中に出張で投票箱を設置したというのは、松山市が初めてで、全国初のケースになります。平成26年2月からは、学生さんを選挙啓発の支援スタッフ「選挙コンシェルジュ」に認定して、市と協働で、選挙CMやSNSを使って選挙情報を発信したり、オリジナルの啓発グッズを作成して大学内で配布したりして、選挙啓発や主権者教育などを行っています。さて、本日のタウンミーティングですが、まちづくり協議会さんをご相談させていただく中で、サブテーマを「住みやすい居住環境づくり」と「地域活動と安全安心なまちづくり」にさせていただきました。もちろん、このテーマ以外のことを質問していただいても大丈夫です。最後に、いつもタウンミーティングで申し上げていることですが、まず、一つ目に「行政がやるべきこと」があります。二つ目に「地域の皆さんができること」があります。三つ目に「地域の皆さんと私たち行政が一緒になってできること」があります。本日は、改めて、清水地区のまちづくりについて、皆さんと一緒に考えながら、有意義な意見交換をしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【男性】 民生委員で、山越に住んでいます。集会所が昭和50年にできて今年でちょうど40年になります。2階の大型冷暖房のクーラーは18年前に地元の集会所の負担金で取り付けたんですが、30年ほど前のクーラーで言うことを聞いてくれません。去年くらいまではたたいたりさすったりして動いていたのですが、今年になって言うことを聞いてくれなくなりました。この集会所は高齢者のファミリーサロンが月2回、乳幼児の子育て広場としてえひめ乳児園から10人が来て月1回、高齢者の八千代会が月数回、会員80人などが利用していて、お年寄りの方に今年の夏は使えないかもしれないと話したら、それは困ると言っています。集会所の利用者数は、昨年度が6,900人、今年は6,000人余りです。扇風機ではだめで、クーラーがなければいけないと思っています。今日は公民館長、分館長、八千代会の会長、ファミリーサロンの責任者も来ています。よろしくお願いいたします。

【市長】 公民館本館は市内に41地区あります。集会所が松山市内に約300あり、山越集会所もその一つです。山越集会所の件は何っています。確かに言われた通り18年前に設置されたもので、調べると古いエアコンで部品もないことから、修理は不可能と聞いています。また、集会所内に清水校区の第八区分館も入っていて、高齢の方の利用や子育てサロンの利用もあって利用人数が多い所であると認識しています。どのような状態か現地を確認すると、電源を入れると数秒で動作が停止してしまう状況でした。これは真夏になるとたまらないですよ。市内には教育集会所が30カ所ありますが、この中でも2番目に利用が多く、特に2階の大会議室は年間287回、3,860人と、4,000人近い利用実績があります。ですから空調設備の重要度や緊急度も高いと思っていますので、この夏、集会所を利用する皆さんが猛暑で大変な思いをすることのな

いよう、できるだけ早く取り換えに掛かりたいと思います。ルールとしては毎年10月に提出される修繕要望書をもとにして、翌年度に重要度緊急度を考慮しながら整備していますが、緊急度・重要度を見ながらやっていくものと思っています。

【女性】 私は清水地区で3年ほど前から地域猫活動をしている清水猫クラブの者です。まちづくり協議会や、他の団体から助成金を頂いたりしながら、地域猫活動の中でも特に不妊去勢手術のTNR（トラップ・ニューター・リターン）のお手伝いをしています。昨年もおよそ100匹の猫の不妊去勢手術をしました。県の獣医師会も使っていますし、松山市の助成金も使わせていただいています。また、清水地区では地域猫に積極的に取り組んでくださる先生がいらっしゃって、通常の手術代よりとても安い値段で手術してくださるので、個人負担金がとても少なく、このように進んでいるのだと思います。松山市では今年も500万の予算だと聞いていますが、去年は12月半ばで助成金が切れてしまったのです。その後も3月末までに30匹近くの猫を皆さんの個人負担で手術しました。松山市の助成金が切れた分をまちづくり協議会さんの助成金で30匹のうち20数匹しか助成することができませんでした。その30匹のうち16匹がメスだったので、そのままにしていたら平均5匹生産むとして30匹の猫がこの4月・5月には100匹以上になる計算です。ですから、市にはできるだけ切れ目なく3月末まで手術代の助成金をお願いしたいです。予算的に無理だと思うので、例えば地区を限定するとか、動物愛護センターを活用していただくとか、加計学園の獣医学部もできたと聞いているので何年か先にはそちらとも提携して何かいい案ができないかなと思ってお願いに参りました。

【生活衛生課長】 地域猫についてご存知でない方もいらっしゃるかもしれませんので、簡単に松山市の現状と地域猫の活動を説明します。松山市と愛媛県でつくっているパンフレットを見ながら聞いてください。松山市には、犬・猫の苦情の相談が年間約400件ありますが、猫に関する相談が増えているのが現状です。中でも野良猫への餌やりが多く、猫が増えて困るのほか、敷地内でふん尿して困るなど、さまざまな苦情が増加しています。このように地域で猫に困っている方の相談を受ける一方で、おなかをすかせた猫を見るとかわいそうだと餌をあげる方もいるのが現状です。私も獣医ですが、猫が悪いわけでは決してないんです。困っている方と猫を助きたい方の双方の問題を、時間をかけて解決する方法として始まったのが地域猫活動で、今、全国に広がり、積極的に活動されている方が増えています。この活動は、飼い主のいない猫を地域住民が地域の問題として捉えていただき、餌やりやトイレのしつけなどルールに基づき管理し、不妊去勢して増えないようにしながら天寿を全うさせて、それに伴って数が減っていき、相談苦情の件数も減っていくということになります。地域の皆さんが自ら主体となって実施するので、我々は行政の立場として、また動物愛護団体のボランティアも支援の一つとして援助などを行っている状況にあります。これらの活動には手術費用の話題がよく

出ますが、猫は餌も食べますしトイレもします。そのようなことを解決しなければなら
ないし、また医療費もかかります。費用負担の方法とか誰が何をするのかなど、地域の
皆さんで話し合い、さまざまなルールを決めてスタートしてもらう必要があります。こ
のように住民の理解を得ながら、地域の問題を解決していこうと頑張っている方がいら
っしゃるということです。先ほどお話がありました、松山市では、もともと犬猫の不
妊去勢を補助していたわけですが、猫の相談が多くなった現状を踏まえ、今は猫に特化
して猫の不妊去勢手術の補助金としました。平成28年度からは特にその中で飼い主の
いない猫にスポットを当て、制度も変更して予算も増額しています。また30年度には
さらに増額して支援していますが、全部に行き渡っていないのが現状です。我々も数多
くの地区の方に利用していただきたいという思いがあります。今後も補助の内容を少し
見直したり、いろんな都市のことを勉強したりして、支援を続けていきたいと思ってい
ます。また、不妊去勢の活動をしている方は猫を捕まえるのがなかなか大変とのことで、
捕獲箱の貸し出しを行っています。また、猫の被害に遭われている方の問題も深刻で
すので、猫の被害の軽減機という便利なものも貸し出ししています。今後もいろいろと検討
していきますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

【男性】 2年前くらいに地元の人をお願いしたのですが、中央2丁目の交差点に大
きい電柱が二つ立っていて、それを何とかできないかと思っています。2丁目の交差点
は盲学校や高等学校もあり、交通量がすごく多いところ。私も何回か接触事故を見
たことがあります、今やっと工事をして一部は広げるようにしてくれていますが、や
はり電柱が邪魔になって危ないのです。これをなんとかお願いできたらと思って来まし
た。

【市長】 中央2丁目の交差点の電柱ですね。皆さんに分かってもらえるように地図を
出せますか。

【男性】 ここは県道と国道と地域の水利組合もあるので、なかなか難しいところがあ
ります。

【都市・交通計画課長】 電柱が少々邪魔になるということで、いろいろご苦勞をお掛
けしていると思います。よくご存じだと思いますが、国や県、改良区、あるいは松山市
や電力とか、いろいろな関係機関が混じっています。そういった方々に私から電話をし、
対応可能かどうかの検討を早速させていただきたいと思います。

【市長】 道でいうと国道があり、国道11号線や33号線、56号線、196号線と
か、国道437号線などもあります。県道もありますし、松山市の道路もありますし、
私道も農道もあります。皆さんはどこの道路が国のもので、どの道路が県のもので、ど
の道路が市のものというのは、分からないですよ。遠慮なく市に言ってください。今、
愛媛県と松山市は連携が取れますので、松山市のタウンミーティングで県道のことを言
ってもらい、県の方に伝えて改良された例も多々ありますので、私たちの方で中央2丁

目のことでどういうことができるのかを話をしてみたいと思います。

【男性】 私には小学校4年生と6年生の男の子が2人いますが、清水地区は、ボールで遊べる公園がないので、近所でどうしても遊んでしまって、ガラスを割るなど、いろんなことで地域の方にご迷惑を掛けています。清水地区でどこか1カ所でいいので、ボールで遊べる公園をつくっていただけたらと思います。公園はあるのですが、元気なおじいちゃんやおばあちゃんがゲートボールをしています。ボールで遊べる公園を整備していただければと思います。

【市長】 私から松山市全体の話をさせていただきます。今、松山市ではボール遊びのできる公園を増やしています。市長に直接意見が届くメール制度を設けていまして、公園のそばに住んでいる中学生の女の子からメールが届いたことがあります。「ボール遊びを公園でしていると、私の家の庭に勝手に入って、そのボールを取って行くんです。なんとかしてもらえませんか」という内容でした。家のそばに公園があって、ボールが庭に入って来て、勝手に庭に入って出て行かれるのは嫌だろうなという気持ちも分かるのと、公園でボール遊びしたいという気持ちも分かります。松山市にはおよそ300の公園がありますが、公園にもいろいろな種類があって、公園を管理している協力会の方がいらっしゃいます。公園全部を松山市の公園緑地課が管理したらいいと思われるかもしれませんが、そうすると公園で蛍光灯が切れているとか、器具が壊れているというのは、発見が遅れてしまいますよね。それで、公園管理協力会の方と話をし、ボール遊びをする場合にはルールをつくるのが大切になります。前の中村市長のときから、およそ1年に1カ所はつくろうということで、ボール遊びのできる公園づくりは平成18年度から毎年進めています。それでは、清水地区のことを課長からお話をいたします。

【都市・交通計画課長】 清水地区には9カ所の公園がありますが、まだボール遊びのできる公園はありません。具体的に希望する公園を教えてください、公園管理協力会や地域の皆さんにその旨をお伝えして、可能性を探っていこうと考えています。公園緑地課ではアンケートを実施し、かなり前向きにいいよという地区もあり、毎年ボール遊びのできる公園を整備している実績もあります。後で場所など、詳しく教えてください。

【市長】 松山市全体で言いますと、平成18年度には平井町の平井公園が、平成19年度には旧北条市河野別府の河野別府公園（文化の森）が、平成20年度には中野町の中野公園が、平成21年度には久万ノ台緑地が、平成22年度には堀江中央公園が、平成23年度には福音公園が、平成24年度には白水台北公園が、平成25年度には古川公園が、平成26年度には愛光公園が、平成27年度には久米窪田町の北窪田公園と石風呂町のすみれの北公園が、平成28年度には星岡3丁目の星が岡公園にボール遊びのできる公園の改良をしました。平成31年度は南江戸本村公園が、まもなく北井門にある白山の杜公園が利用できるようになり、広がっていているところです。今日は8時半

終了予定ですが、8時半で我々はぱっと帰るわけではありませんので、課長にこの辺を希望しますということをお願いいただいたらと思います。

広報タイム「正しいごみ分別」

紙ごみの捨て方等について説明しました。

【男性】 まちづくり協議会安全安心部の者です。平成26年にまちづくり協議会ができた頃から市にもお願いしていると思うのですが、1カ所暗いのでぜひ明るくしてほしい場所があります。勝山中学校の南の通りの正門側です。道路を隔てて南側は防犯の電灯が2カ所付いています。中学校側は高砂町の踏切がありますが、電停までは真っ暗です。学生が部活動を終えて帰る頃にはもう真っ暗で、そこへ松山大学の授業が終わった大学生の自転車が多く走ってきます。事故が起きないうちに、ぜひ明るくしていただきたいと思います。ご検討をお願いいたします。

【市長】 前のスクリーンに勝山中学校付近の地図が出ています。この辺りですか。

【男性】 はい、そのとおりです。そこから高砂の電停まで真っ暗です。

【市民部長】 防犯灯という考え方でよろしいですか。

【男性】 高速道路までとは言いませんが、国道についている街路灯を付けていただくと、大変助かります。防犯灯では事足りないのです。

【市民部長】 考え方ですが、防犯灯は、ご存知のとおり、町内会の申請で必要な箇所に確認に行って、照度が不足している場合には付けさせていただいています。ただ、電気代は町内会負担となっています。新しい道ができたときには、道に対して明るさを取り込むなど、防犯灯とはまた違う街路灯もあります。

【男性】 言われているのは分かりますが、松山大学の体育館があって、その西には街路灯のようなものがついています。

【市民部長】 道路関係者と現場を見に行くので、どのようなものがどういう形でついているのか勉強させてください。

【男性】 今日の帰りにでも見て帰ってください。

【市民部長】 後ほど地図で詳しい場所を教えてください。

【女性】 松山商業高校地域ビジネス科の学生です。清水町に限ったことではないですが、西日本豪雨災害とかもあって、あと50年60年で南海トラフ地震も来ると言われているので、被害に遭われる方が少なくなればいいなと思って、高齢の方への防災無線の提供を考えました。学生など若い人たちは緊急地震速報とか分かるのが早いと思うのですが、高齢の方は分かるのが遅くなり、避難するのが遅れます。田舎では防災無線を持っている高齢の方が多いようなイメージですけど、この辺りだとまだ持っている人

が少ないと思うので提供できたらいいなと考えました。それから、耳が不自由な高齢の方だともっと避難が遅れてしまうので、耳じゃなく目でわかるものがあつたらいいなということで提案させてもらいました。

【危機管理課長】 災害が発生したとき、防災行政無線などで災害の状況や避難情報をお伝えするのはすごく重要なことです。その情報の伝達手段の中にはさまざまなものがあります。先ほど言っていたいただいた防災行政無線とか、携帯電話とか、若い方だとスマートフォンで見られる防災アプリとか、また、メールではモバイル松山消防に登録いただければ、必ずお届けできるメールもあります。ただ先ほど言われたように、高齢の方はなかなか携帯電話を使ってない方もいらっしゃると思います。ですので、伝達手段の一つとしてテレビがあります。西日本豪雨のときのことを聞いたアンケートの中で、「何で情報を知ったか」という問いに、「テレビ」が一番多かったです。テレビは、我々が防災行政無線を使ってお知らせする内容と全く同じものを流しています。災害が起きたとき、災害が起きそうな気象状況になったときは、防災行政無線を当然流します。そのほか、メールなども流れています。しかし、必ずテレビを見てください。テレビさえ見えてくれたら、その情報は同じタイミングでお知らせしています。テレビを見ていただくのが一番情報が入りやすいので、よろしくお願いします。

【市長】 冒頭で放送局に勤めていたお話をさせていただきましたが、放送局にいたときは災害報道のチーフをさせていただいて、例えば地震が起きたらその発生直後には何を言わなきゃいけないか、30秒後には、1分後には、3分後には、10分後にはと、NHKさんや各民間の放送局も公の電波を使った免許事業ですから、災害時にはそのような事を放送します。テレビを持っていない方はラジオつけていただいたら、ラジオからも情報は流れてきます。それから、よく自分で身を守る、自分で助けるという「自助」、いざというとき消防隊員や救急隊員が助けに行き公が助ける「公助」、共に助ける「共助」という言葉があります。これをわかりやすく「近助（きんじょ）」という言い方をすることもあります。近くをつながりがとても大事になりますので、冒頭に申し上げた、災害時の要支援者の名簿を提供することも広げていっています。ですから、近所の方であそこにはおじいちゃんやおばあちゃんが一人で住んでいるとか、避難所に来ていないから声をかけに行くとか、そのようなことがすごく大事になります。このようなつながりのある社会にしていきたいな思っていますので、よろしくお願いします。

【男性】 公民館の運営審議委員や姫山小学校の見守り員をしています。大川沿いの通学路ですが、特に増田病院の前の辺りが非常に狭いんです。朝の登校時ですと小学生が北に向いて行き、勝山中学校の生徒が南向いて行きます。特に、通勤通学で北向きの自転車を通ります。非常に狭くて危険な場所もあり、雨天時は特に危険な感じがあります。前回のタウンミーティングのときに、ここの拡大をお願いしたら市長さんはやりますと言っていたと思うのですが、それから5年以上経ちましたが一向に進展していま

せん。今までの経緯と今後の見通しについてお願いしたいと思います。

【市長】 国道196号線で増田病院があって、大川沿いの側道ですね。

【都市・交通計画課】 保留になっているということなのですが、こういった道路の改良は、例えば地元の土地改良区さんや町内会長さんなどに要望書を出していただく必要があります。いろいろな工作物とか土地の所有者とか、そういう方の同意に基づいて道路の改良をさせてもらっています。同意がまとまりましたら、早急に対応をさせていただきたいと思います。

【市長】 私も確か経済人の方からこの話はいただいています、一部広がったところはまだないということはおそらくまだ地元の同意がいただけていないのかなと思います。一般的な話として聞いていただいたらと思いますが、平成24年4月に京都府亀岡で登校中の通学の列に一晩中運転をしていた若者の軽自動車が突っ込んで10人の方が死傷するという事故がありました。松山市ではこのような事故が起こってはならないということで通学路の緊急点検をさせていただき、危険箇所の全てを松山市のホームページに掲載しています。清水小学校区ではこういう対応をしましたと、掲載しているんですけども、市内の通学路490カ所以上で対策を実施しています。緊急点検は、教育委員会と警察の方以外に、国道・県道・市道がありますから国や県の職員にも出てもらい、学校関係の皆さん、保護者の皆さん、地域の皆さんと一緒に緊急点検をしました。平成24年の点検から5年経った平成29年にも点検をしました。ただ、どうしてもできないところもあって、地元の同意が得られていない場合もあります。例えば、歩道と車道の間ガードレールを付けて完璧に分けることができれば安全性は高まると思うんですが、中には家の進入路になっている場合もあります。また、道が広がるので水路にフタをしてほしいということもありますが、水路は田んぼや畑をお持ちの方や土地改良区の方は、フタをすると掃除ができにくくなるとか、物が詰まったときに取りにくくなるとかいうことがあって、農家の方々の同意が得られず、フタをすとかグレーチングをすとかができないことがあります。溝にフタをすると道は広がって通りやすくなりますが、逆に車が多く通る抜け道になって危なくなってしまうということもあります。ですから、総合的な観点からやっているというところなんです。もともと私も清水地区に住んでいましたし、ランニングで走らせていただくこともありますので、大川沿いのところは細いし、だいぶ自転車が通っているというのはよく分かっています。地元の同意も頂きながら、安全性を高めていきたいと思っています。一般的な話で申し訳ないですが、また、1カ月をめどにできるだけ早くお返事をさせていただきたいと思いません。

【生涯学習政策課長】 緊急点検の件ですが、清水小学校の通学路の危険箇所は16カ所あり、そのうち10カ所の対策を行いました。横断歩道や通学路標識を設置したり、交差点マーク内のカラー舗装や止まれマークの表示をしたりしました。残りの6カ所は、通学路の一部を変更したり、児童に通学の指導をしたりして対応しています。また、姫

山小学校の通学路は、危険箇所が10カ所あり、そのうち8カ所の対策を行い、樹木の撤去や自転車道と歩道の整備、ガードパイプの設置などを行いました。残りの2カ所のうち1カ所は先生が指導などを行っていきまして、もう1カ所は、現在、舗道整備中で、今年度完了する予定となっています。

広報タイム「家具転倒防止対策」

家具転倒防止対策について説明しました。

【女性】 勝山中学校のPTA会長です。勝山中学校のグラウンドはちょっと水はけが悪いです。体育や部活動、バザーでも使いますし、災害があったときには避難場所にもなると思いますので、水はけが良くなるように整備していただけるとありがたいです。

【生涯学習政策課長】 学校のグラウンドの水はけが悪いということですが、現状を確認させていただき、対応を検討させていただきたいと思います。

【女性】 あのグラウンドは雨が降ると粘土質になるのです。勝中フェスティバルのときも、大雨のあと歩けないのでシートを敷いて対応しましたが、シートの上に横から粘土が入ってしまい、足元が悪い中で行事をしました。そのときに、痛感したことをPTA会長に言っていただいて、ほっとしました。小学校のグラウンドは、防災訓練などの行事をして雨が降っても、粘土質にはならないので、どんな違いがあるのか、施工状態は分かりませんが、重ねてお願いをしたいと思います。

【市長】 今の学校は水はけが良くなるような土の入れ方をしているようです。おそらく、昔の古い学校は、土壌が昔のままの土の入れ具合ではないかと思います。清水公民館はそうではないと思いますが、昔できた公民館は男女のトイレが一緒であったり、和式のトイレばかりであったり、当時はそこまで配慮された公共施設のつくり方ではなかったのだらうと感じています。愛媛県も松山市も厳しい財政の中でやりくりをしていますが、公民館の古いトイレも今の時代に合わせていく必要があるように、学校のグラウンドも古いものは土壌改良もやっていく時代になってきているのではないかなと思います。先ほど、教育委員会が申しあげましたように、現状をしっかりと見させていただいて、どういうことができるのか検討させていただいたらと思います。

【男性】 松山大学生です。僕は今、子ども未来教室という活動を清水公園でさせていただいているのですが、公園のトイレがあまりにオープン過ぎるなと思います。男性がトイレをしていると、女子児童に丸見えになります。今、個室の鍵が壊れていて、女子児童が中に入っても締められない状況で、すごくオープンなトイレだなという印象があります。逆に、僕が今住んでいる所の近くの公園はすごくクローズで、未成年が飲酒したり、喫煙したりする温床になってしまっている所もあって、オープン過ぎるトイ

レもあれば、クローズ過ぎるトイレもあるなということで、そういうのはどうしたらいいんですかという質問です。

【市長】 まず、鍵のことですが、遠慮なく言ってください。市役所に「ここは危ないと思うので何とかしてください」とか言っていただいたら、すぐに公園の担当者を行かせますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。

【都市・交通計画課長】 トイレがオープンになっているとか、私も知りませんでしたので、早速、現場を見させていただいて、対応を考えたいと思います。

【市長】 これも一般的な言い方になりますが、時代によって、公園も変わってきているのかなと思います。遊具も、今は比較的、子どもに比べて人生の先輩方の比率も高くなっており、健康遊具といひまして、健康につながるような遊具が大分出てきていて、配置されるようになってきました。私も公園のトイレを利用するときもあります。ちょっと恥ずかしくなるぐらい、近所を歩いている方から見えるぐらいのところもありますが、防犯の面からすると、あまりクローズにしない方がいいのだろうということで、空間が取られているのかなとも思います。しかし、女性が利用する場合には、あまりむき出しの状態では使いにくいでしょうから、難しいところだと思いますが、どうぞ遠慮なく言っていただいたらと思います。

【市長】 1時間半経過しましたが、今日は皆さん、活発に手を挙げていただいて、ありがとうございました。清水地区では3回目のタウンミーティングでしたが、今日のご意見をしっかりと生かしていきたいと思います。市役所という言葉があります。ずっと職員に言い続けているのですが、「市民の皆さんの役に立つ所」で市役所でなくてはいけないというふうに言っています。どうぞ、皆さん、敷居を高くせずに「ここ、こんなことになつとるよ」と連絡していただいたら、即時の対応をできるだけするようにしていますので、遠慮なく言ってください。また、皆さんからお声をいただいたら、「こういうやり方はできないけれども、こういうやり方だったらできますよ」というような情報提供をすることもできますので、どうぞ、遠慮なく言っていただいたらと思います。今日、本当は言いたかったんだけど、時間がなくて言えなかったという方もいらっしゃるかと思います。松山市には、市長への直接のメール制度「わがまちメール」もありますので、活用していただけたらと思います。これからも皆さんからの意見を基に、市政を推進していきたいと思っていますので、これからもご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。今日は本当にありがとうございました。

—了—